

令和2年度

優れた教育活動表彰

1 学校（18校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
松江市立津田小学校	森 脇 紀 浩	<p>平成30年度から2年間、文部科学省人権教育研究指定及び県人権・同和教育研究指定を受け、全教職員が部会に所属して人権・同和教育の組織的な取組を進めている。</p> <p>これまでの取組によって、自分の考えを持って意欲的に話し合い活動をしたり、自分の良さを発揮し、友達の良さに気付く児童の姿が見られてきたほか、教職員の人権意識の向上にも繋がるなどの成果が現れている。</p> <p>現在も、人権・同和教育の一層の深化・充実を図る取組を継続している。</p>
安来市立比田小学校	井 筒 泰 世	<p>平成30年度から2年間、金銭・金融教育研究校として指定を受け、物・金銭・働くことに関わる学習を通して、物やお金の価値や勤労の尊さを知り、健全な金銭感覚や進んで働く態度を身につけた子どもの育成に取り組んでいる。</p> <p>学年に応じた体験活動や地元企業との協働事業「サマーフェスタ出店プロジェクト」を通じた実践に加え、地元のテレビ局や高校と連携した広報活動を展開するなど学びを深めている。</p> <p>これらの実践は、金銭教育を推進するとともに、地域の「ひと・もの・こと」を生かした探究型学習プログラムの研究への取組として、県内の教育活動に大きく貢献している。</p>
出雲市立四絡小学校 出雲市立北陽小学校	金 築 康 治 森 弘	<p>平成29年度から「学びをつなぐ」「仲間とつながる」「地域とつながる」の三つの視点から生活科及び総合的な学習の時間の研究に取り組んでいる。</p> <p>研究主任を中心として全校体制で研究実践に取り組み、令和元年度中国地区小学校生活科・総合的な学習の時間教育研究大会において、四絡小では生活科、北陽小では総合的な学習の時間で公開された授業は、先進的な質の高い教育実践として参加者から高い評価を得ており、両校の実践は、今後の小中学校でめざすべき授業づくりや校内研究の在り方として大いに参考となる取組となっている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
雲南市立木次小学校 雲南市立斐伊小学校 雲南市立寺領小学校 雲南市立西日登小学校 雲南市立木次中学校	大 島 悟 川 上 諭 内 藤 まり子 別 所 久美子 山 根 斉 浩	<p>平成30年度から校区全体で課題対応力、伝え合う力、情報活用能力の育成を重視した教育実践に取り組む中で、「木次中学校区版情報活用能力系統表」を作成・整備し、各校では独自のカリキュラムを組んで実践を積み重ねている。</p> <p>令和元年度全日本教育工学研究協議会全国大会島根大会では、各校が主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の活用に重点を置いた実践を公開し、先進的な質の高い取組を全国に発信している。</p> <p>今年度も、情報活用能力を系統的に育む実践に継続して取り組んでおり、ICT機器活用における教育実践の先進事例として大いに参考となる取組となっている。</p>
浜田市立原井小学校 浜田市立第一中学校	齋 藤 祥 文 滝 本 浩 之	<p>令和元年度に県のキャリア・パスポート活用研究事業のモデル校として指定を受け、職員が子どもたちに身につけさせたい力（資質・能力）の共通理解と視点を持ち、それを意識した教育活動を実践している。</p> <p>原井小学校では、育てたい六つの力（課題発見、伝える、受け止める、合意形成、協働、振り返る）の育成を意識した実践、第一中学校では、学年毎に具体的な資質・能力を絞って学校行事に活かす実践を行い、子どもたちの学習意欲の向上や個々の成長の実感、次の目標設定へのつながり等の成果として現れている。</p> <p>こうした取組は、今後のキャリア教育への実践として大いに参考となるものである。</p>
益田市立吉田小学校	領 家 芳 明	<p>平成28年度から3年間、県の算数授業改善推進校事業の指定を受け、「かかわりをとおして考えることを楽しむ授業づくり」に積極的に取り組み、具体的な体験を伴う学習を通して実感を伴う理解につなげることによって、算数が好きな児童、みんなで考え、あきらめないで取り組む児童が増加している。</p> <p>また、特別支援学級に在籍する児童に対しても、チームで適切な支援を行い、通常の学級との交流活動を通してかかわりを持つことで互いが高め合っている。</p> <p>児童や教員が互いにかかわり高めあうことで、学校全体で効果的に学力や人間力の底上げにつながるなど大きな成果となっている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
吉賀町立蔵木小学校	松 元 善 生	<p>「なかまづくり」「かかわり」を合い言葉に地域と連携した様々な取組を行っている。</p> <p>中でも、全校で取り組む「和太鼓演奏」や地域と一体となって制作した「蔵木音頭」、養護教諭を中心に作成した「歯磨きソング」などを通して地域と関わり、協働した教育実践を行うことで、児童への評価が高まり、自己肯定感の向上に繋がるとともに、地域を元気づけ、活性化させている。</p> <p>こうした活動は、学校と地域が連携した教育モデルとなる実践として、大いに参考になる取組となっている。</p>
安来市立広瀬中学校	松 本 洋 和	<p>平成26・27年度、令和元年度の二度にわたって県学校図書館活用教育研究事業の指定を受け、情報活用スキルの年間計画に沿って、教科横断的な取組や司書教諭が学校司書や複数の教科担任をつないで単元構想を支援する授業実践を行うとともに、図書館を情報収集がしやすい環境に整備して、生徒の探究的な学びを支える体制を整えている。</p> <p>県学力調査では、多くの生徒が読書や学習への取組に関わる項目に肯定的な回答をしているほか、これらの実践を公開授業や web への掲載を通して発信しており、学校図書館を活用した教育実践として大いに参考となる取組となっている。</p>
浜田市立第三中学校	川 田 英 樹	<p>平成30年度から2年間、文部科学省人権教育研究指定及び県人権・同和教育研究指定を受け、研究主題に「自己有用感をもち、安心して自分の思いを表現できる生徒の育成」を掲げ、「授業づくり」「基盤づくり」「地域連携」を柱として研究を積み重ねている。</p> <p>教師と子ども、子ども同士、地域と子どもといった様々な角度から子どもたちの自己有用感を育成する方策を進めた成果は、主体的に学習に向かう生徒の増加や人権意識の高まりなどに現れており、人権教育の実践として大いに参考となる取組となっている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
美郷町立大和中学校	渡 部 律 夫	<p>長年にわたり、総合的な学習の時間を中心としたふるさと学習に取り組み、郷土に関する課題を見つけ、主体的に問題を解決する資質や能力、よりよい社会を築こうとする態度の育成を目指した教育実践を行っている。</p> <p>令和元年度は「神楽コース」と「ふるさとコース」に分かれて探究活動や体験活動に協働的に取り組み、その成果を文化祭や福祉施設で披露するとともに、タブレットを活用した情報発信や中学生議会での提案も行っている。</p> <p>活動を通して郷土への愛着、社会参画への意欲や態度の養成、他者と協働しながら課題解決に向かう力の育成に繋がるなど、ふるさと教育における実践として大いに参考となる取組となっている。</p>
島根県立出雲高等学校	真 玉 保 浩	<p>平成25年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業、平成26年度から5年間スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業の指定を受け、全校体制で「科学的リテラシーを備え国際社会で活躍するリーダーを育てる」教育プログラムの開発と実践を行っている。</p> <p>協働的な学習と客観的根拠に基づく論理的な思考を推進し、SSH事業とSGH事業の相乗効果によって、生徒の各種学会等での発表や入賞数の増加と質の向上、進学実績の向上等多方面で大きな成果をあげている。</p> <p>また、同校が構築した多面的・多角的な指導体制は「出雲モデル」と呼ばれ、研究活動を持続可能にするための取組として高く評価されており、取組を継続して事業の成果の幅広い普及に努めている。</p>
島根県立浜田ろう学校	平 野 謙 二	<p>地域とのつながりを活かした教育活動に取り組んでいる。「浜ろうフェスティバル」での地域住民や県立大学生とのふれあいや、地域ボランティアとの野菜づくりや釣り等の様々な活動、中学部・高等部の生徒と地域の手話サークルとの交流活動といった多岐にわたる活動が長年にわたり活発に行われている。</p> <p>こうした取組は、地域住民による子どもたちへの教育活動支援となるとともに、地域全体に特別支援教育への理解を深めるものとして大いに参考になる取組となっている。</p>

（注）上記の掲載順は、原則、小学校・中学校・高校・特別支援学校、かつ建制順による。

2 個人（12名）

氏 名	所属名・職名	表彰の理由
うえだ さとる 植田 悟	島根県立平田高等学校 教諭	<p>野球部の監督として、平成28年夏に出雲高校、令和2年春に平田高校と、短い期間に二つの公立高校をそれぞれ甲子園初出場に導き、卓越した指導力を発揮している。</p> <p>また、野球人口の減少が続く状況に危機感をもち、地元の幼稚園・保育園児を対象に部員による野球教室を実施して、園児らにゲーム感覚で野球に触れあう機会を提供するなど将来を見据えた野球の普及活動にも尽力している。</p> <p>自作の野球教室のマニュアルは県内外で広く参考にされており、野球人口の拡大や野球部活動の振興に大きく貢献している。</p>
おかもと みゆき 岡本 美由紀	出雲市立第一中学校 教諭	<p>学習障がいに関する自主研修会である「読み書きを支える会」の中核となって、療育従事者等と連携して研修会を積み重ねている。</p> <p>研修会を通してデコーディング指導の取組を他校に広め、平仮名の読み書きにつまずきを持つ児童生徒を理解し、支える体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>令和元年度には、島根県小・中学校生徒指導研究大会でその取組を発表し、児童生徒一人一人と向き合うことの大切さを県内に発信している。</p> <p>自主的に始めた取組が仲間を増やし、地域のネットワークをつないで県内に広まる教育実践として大いに参考となる取組となっている。</p>
おくの かずひろ 奥野 和浩	島根県立邇摩高等学校 教諭	<p>長年にわたり、自身の企業勤務経験を生かし、実務に即した指導法を実践し、商業教育の発展に貢献している。</p> <p>商業の授業を通して出雲養護学校邇摩分教室の生徒とも交流し、障がいのある生徒の自立支援にも寄与している。</p> <p>また、「邇摩高等学校アンバサダー（出前講座）事業」を立ち上げ、高校の魅力向上に中心となって取り組み成果をあげているほか、学校と地域・企業が連携した課題解決学習を実践し、地域に根差した教育によって高校魅力化に向けたコンソーシアム構築支援の推進に資するとともに、商業教育を通じた地域の活性化、高校の魅力化創造に貢献するなど他の教員の模範となっている。</p>

氏 名	所属名・職名	表 彰 の 理 由
さくら い ひで や 櫻 井 英 也	島根県立邇摩高等学校 教諭	<p>着任以降、特別支援学校での勤務経験を生かし、高校通級の骨格づくりに取り組み、全国でも先進的な自校の取組を視察や研修会を通して県内外に発信しているほか、多様性を認める講話を他校でも行って、高等学校における特別支援教育の推進と通級指導に大きく貢献している。</p> <p>また、自身の専門とする農業科での実践を基に、全教員の中心となって「邇摩高モデル」「邇摩高ルール」作成し、これは全校で展開するユニバーサルデザインを意識した授業の基礎となっている。</p> <p>その指導・支援方法を確立したリーダー性や高い指導力は他の教員の模範となっている。</p>
す だ か おり 須 田 香 織	出雲市立第一中学校 教諭	<p>一貫して英語科のより良い指導方法を追究して自己研鑽に努めている。</p> <p>歴任校では、文部科学省の日本人若手英語教員米国派遣事業に参加して得た知見を生かして、数々の共同研究を行い、その成果は論文誌にも掲載されたほか、令和元年度には島根県教育センター指導主事として、新学習指導要領に対応した教科指導を行うための個人研究に取り組んで、指導に携わる教員に大きな示唆を与える研究結果を発表している。</p> <p>今年度は、勤務校の英語科主任としてこれまでの研究成果を生かす教育実践に励んでいる。</p>
て ぜん たか し 手 銭 隆 志	島根県立松江東高等学校 教諭	<p>令和元年度に文部科学省から指定を受けた地域との協働による高等学校改革推進事業の実践において、事業推進の中核となって、校内の連携を図りながら学校全体で魅力化に取り組む体制を構築している。</p> <p>同校の魅力化コンソーシアムの協働主体である島根大学や、地域の企業と連携した教育プログラムの開発・運営に尽力するほか、同校ホームページの刷新やPR 動画作成など、より効果的な情報発信を行うとともに、魅力化に対する教職員の意欲向上のための研修を企画・運営し、他校教員の参加も呼びかけている。</p> <p>こうした取組は、本県の目指す高校魅力化の推進に大いに貢献しており、他の模範となっている。</p>

氏 名	所属名・職名	表 彰 の 理 由
なか むら とおる 中 村 徹	津和野町立津和野小学校 教諭	<p>長年にわたり、国語教育をはじめ理科教育、特別活動等の研究実践を積み重ねている。</p> <p>児童同士が聴き合う関係づくりを柱に温かな人間関係の中で行う授業づくりによって、子どもの成長を実感する保護者の声が数多く寄せられるなど、優れた指導力を発揮するとともに、数多くの研究大会で実践発表を行い、質の高い学びに寄与している。</p> <p>また、益田市のふるさと読本の作成に携わり管内のふるさと教育に大きく貢献しているほか、歴任校では研究主任や教務主任等を務め学校経営の核として尽力するなどミドルリーダーとしての実績や数々の教育実践は、他の教員の模範となっている。</p>
なが み みちこ 永 見 美千子	出雲市立神戸川小学校 教諭	<p>学習障がいに関する自主研修会である「読み書きを支える会」の中核となって、療育従事者等と連携して研修会を積み重ねている。</p> <p>研修会を通してデコーディング指導の取組を他校に広め、平仮名の読み書きにつまずきを持つ児童生徒を理解し、支える体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>令和元年度には、島根県小・中学校生徒指導研究大会でその取組を発表し、児童生徒一人一人と向き合うことの大切さを県内に発信している。</p> <p>自主的に始めた取組が仲間を増やし、地域のネットワークをつないで県内に広まる教育実践として大いに参考となる取組となっている。</p>
にっ た きよこ 仁 田 喜代子	安来市立比田小学校 教諭	<p>着任以降、ふるさと教育において、校内の中心となって比田をよりよくしていくための探究的・体験的な学習を展開している。</p> <p>児童が考える地域課題解決のための様々な活動を地元企業「え～ひだカンパニー」等と連携・協働して進めているほか、高学年の児童を「え～ひだ kids」として比田を盛り上げる活動を継続させるための基盤整備を行うなど地域活性化にも貢献している。</p> <p>これらの活動を島根県金銭・金融教育研究校としての教育実践とも関連づけ、その中心となって実践を進め、後進の育成にも関わっており、学校と地域の協働による人づくりやキャリア教育の推進における先端の取組は、若手教員の手本となっている。</p>

氏 名	所属名・職名	表 彰 の 理 由
ふじ 藤 原 真 美	松江市立川津小学校 養護教諭	<p>長年にわたり、児童生徒及び教職員の健康管理や保健指導に積極的に取り組んでいる。</p> <p>大規模校での勤務経験を生かし、勤務校における健康課題を的確に捉え、解決に向けて組織で取り組む体制づくりや家庭や地域との連携に努めるとともに、子どもに寄り添い日々の関わりを大切にした指導を行っている。</p> <p>また、松江市養護部会の副部長や島根県小中学校養護教諭研究会の評議員を務め、医師会との連携に尽力するなど学校保健の向上に大きく貢献している。</p>
みや 宮 岡 愛 子	松江市立川津小学校 栄養教諭	<p>長年にわたり、心身ともに健全な児童生徒の育成をめざし、学校給食の充実と食育の推進に取り組んでいる。</p> <p>地場産物を積極的に活用し、郷土料理や行事食を大切に献立作りに取り組むとともに、食物アレルギー対応にも努めるほか、児童生徒の朝食内容の改善を目的とした研究を重ね、食育指導に生かしながら日本栄養改善学会での研究発表も行っている。</p> <p>島根県学校栄養士会においては、会長や県代表を務め、後進の栄養教諭や学校栄養職員の育成にも大きく貢献している。</p>
やま 山 根 佳 也	川本町立川本中学校 教諭	<p>長年にわたり、吹奏楽指導の研究・実践を積み重ね、卓越した指導力を発揮している。</p> <p>歴任校では、中学校で県内唯一のマーチング指導に取り組んだほか、各種コンクールやコンテストで数々の好成績を収め、現任校では、全日本吹奏楽コンクール島根県大会及び同中国大会での金賞の連続受賞や、令和元年度日本管楽合奏コンテストでの最優秀賞受賞（上位5校）に導くなど輝かしい成績を残している。</p> <p>これらの功績は、吹奏楽指導のみならず、生徒に寄り添い、地域や保護者との協同の積み重ねによるものであり、後進の手本となっている。</p>

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。